

うつ病からのリワーク（職場復帰）をサポートする宇野の通所型支援施設「Little Plus（リトルプラス）」が、新聞を活用した復帰訓練を取り入れている。

参加者らは、自分たち独自の新聞作りなどを楽しみながら徐々に現実と向き合い、カムバックを目指している。

うつ病支援施設「リトルプラス」(宇野)

リトルプラスは5月1日、オープン。臨床心理士、精神保健福祉士の資格を持つ青井流施設長(30)が、社会と読者の橋渡し役である新聞に着目。「現実を映す鏡」を使った作業などを通じて職場復帰への足掛かりに「新聞講座」を導入した。講師は下谷博志・山陽新聞玉野支社長。第1回は5月19日に行われ、地方紙の役割と記者に必要とされる要素について参加者(研修生)3人が聴いた。第2回は6月29日にあり、研修生6人が受講しスタッフ2人も体験。山陽新聞が

職場復帰訓練に新聞活用

生き生き紙面作り 社会と目の橋渡し役



「言葉遊びと思えばいいよ」とアドバイスを受け、研修生たちは30代の男性研修生は「初めての作業ばかりで新鮮だった。見出しは、いざ自分が付けてみると難しい」と刺激を受けた様子だった。

青井施設長は「思った以上に積極的に作業してくれた。新聞は復帰への一つの突破口につながる感じた」と手心えを話す。次回「マイ新聞」作り。同講座は7月下旬に開催予定。問い合わせはリトルプラス(☎402)。

うつ病からの職場復帰を目指し、新聞を使った作業に取り組み参加者ら

きるまでをまとめたDVD(8分)を見た後、実際の玉野圏版の文字を取って「○○○記事を使って見出し付けに挑戦した。」

「言葉遊びと思えばいいよ」とアドバイスを受け、研修生たちは30代の男性研修生は「初めての作業ばかりで新鮮だった。見出しは、いざ自分が付けてみると難しい」と刺激を受けた様子だった。

Tamano
玉野圏版

電子版なら他の地域版も読める
山陽新聞デジタル
<http://www.sanyonews.jp>

身近なニュース、
会合、催しなど、
お知らせください。

◆
玉野支社
玉野市宇野 1-12-20
TEL:0863-31-3434